

## 令和 5 年度 (2023) 共同利用研究・研究成果報告書

研究課題名	和文：宇宙素粒子若手の会 第 8 回 秋の研究会 英文：YMAP symposium 2023																
研究代表者	高橋光成 (名古屋大)																
参加研究者	水越慧太 (JAXA)、小磯光 (信州大)、黒岩美羽 (信州大)、水野航太 (信州大)、高橋光成 (名古屋大)、宮田瑠太 (名古屋大)、河原崎琉 (名古屋大)、小林春佳 (名古屋大)、木下幸祐 (名古屋大)、平岡楓 (名古屋大)、北上悠河 (名古屋大)、長谷川智哉 (名古屋大)、臼田育矢 (名古屋大)、坂元舜 (名古屋大)、鷲見貴生 (国立天文台)、Heungsu SHIN (大阪公立大)、中原美紅 (大阪公立大)、河内祐輔 (大阪公立大)、加藤晴香 (大阪電気通信大)、坂本琉之助 (大阪電気通信大)、楠森優貴 (大阪電気通信大)、陳詩遠 (ICEPP)、川島輝能 (ICRR)、三木信太郎 (ICRR)、Joshua Baxter (ICRR)、河内弘輝 (ICRR)、小山千里 (ICRR)、伊藤博士 (東京理科大)、永塚穂里 (東北大)、殷文 (東北大)、江田智弘 (東北大)、齊藤恵汰 (東北大)、浦野壮規 (東北大)、奥川創介 (横浜国立大) (計 34 名)																
研究成果概要	<p>本研究集会は、宇宙素粒子若手の会が運営を担い、2023年11月3日から4日にかけて、東京大学柏キャンパスで開催された。本研究集会の目的は若手研究者と宇宙素粒子関連分野の多岐にわたる研究について議論し、交流を深めることである。</p> <p>本研究集会の主な内容は、参加者による口頭発表、招待講演、懇親会である。参加者は34名(うち招待講師2名)で、全員が口頭発表を行った。発表題目については、研究会ページ(<a href="https://www.icrr.u-tokyo.ac.jp/YMAP/event/conf2023/program.html">https://www.icrr.u-tokyo.ac.jp/YMAP/event/conf2023/program.html</a>)で公開している。参加者の内訳は図1に示すように学部生から研究員まで例年同様幅広く、今年度は特に修士以下の若い学年の参加者が多かった。</p> <p>本研究集会は、ガンマ線・宇宙線・ニュートリノ・重力波・暗黒物質などの多岐にわたる分野の若手研究者が領域を横断して交流する良い機会となった。今年度は4年振りとなる懇親会も実施し、参加は任意としたが1日目の研究会参加者全員が懇親会にも参加した。研究会後のアンケートでは、「全国の若手研究者との交流」、「自分の研究の進展」の点で意義があった、「来年度も参加したい」との意見を多く得ており、今後も継続して実施する方針である。</p>																
	<p>図1: 参加者の内訳</p> <table border="1"> <caption>図1: 参加者の内訳 (推定)</caption> <thead> <tr> <th>カテゴリー</th> <th>人数 (推定)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>PD以上</td> <td>10</td> </tr> <tr> <td>学部生</td> <td>12</td> </tr> <tr> <td>M1</td> <td>8</td> </tr> <tr> <td>M2</td> <td>4</td> </tr> <tr> <td>D1</td> <td>2</td> </tr> <tr> <td>D2</td> <td>2</td> </tr> <tr> <td>合計</td> <td>34</td> </tr> </tbody> </table>	カテゴリー	人数 (推定)	PD以上	10	学部生	12	M1	8	M2	4	D1	2	D2	2	合計	34
カテゴリー	人数 (推定)																
PD以上	10																
学部生	12																
M1	8																
M2	4																
D1	2																
D2	2																
合計	34																
整理番号	F27																